



『アレックスとまほうのふね』

キャサリン・ホラード／文 ヘレン・クレイグ／絵 こだまともこ／訳
徳間書店 ¥1,500(税別)

冒険が好きなアレックスは、イスを2つ繋げた魔法の船でお母さんと旅に出る。沢山の魚やクジラ、きらきら光る海を満喫し、小さな島に上陸したが海賊が現れ…。空想の世界をいきいきと描いた絵本。



『丘のうえのいっぼんの木に』

今森光彦／作
童心社 ¥1,400(税別)

主人公は大きなエノキの木。春、オオムラサキの幼虫が葉を食べて成長し、さなぎから蝶に!夏、オオムラサキのメスが枝や葉に産卵。秋、赤く色づいた実を鳥が食べる。里山の生き物を育むエノキの姿をモノクロの切り絵で描いた科学絵本。



『かみなのに』

たにうちつねお／さく
大日本図書 ¥1,300(税別)

コラージュで作られた生き物に導かれ、不思議な紙の世界へ。紙なのに跳ねたり、伸びたり、怖かったり!?実際に紙を丸めたり、切ったり、折ったりと試してみたいこと間違いなし!



『じゃない!』

チョーヒカル／作
フレーベル館 ¥1,400(税別)

本当の姿は中を見るまでわからない。アーティスト・チョーヒカルさんがペイントした食べ物は、きょうりに見えるがきょうりではなくて、中身はバナナ!本当は何かな?と想像しページをめくるのが楽しい食べ物写真絵本。



『そっくりこ』

中川ひろたか／文 村上康成／絵
ひかりのくに ¥880(税別)

わらべ歌のようなテンポで進む赤ちゃん絵本。赤ちゃんの目や口は、家族の中で誰の顔に“そっくりこ”?読みながら親子のふれあい遊びを楽しむことができ、家族のつながりをより深く感じることができ。



『たいこ』

樋勝朋巳／ぶん・え
福音館書店 ¥900(税別)

トントントンと犬がたいこを叩いていると、「なかまにいれて」と、男の子やカエルが次々にやってきて…。仲間が増えると、たいこの音も増えていく。親子で一緒にリズム遊びが楽しめる絵本。



『だっぴ!』

北村直子／作
こぐま社 ¥900(税別)

ダンゴムシが「もぞもぞ」と動き「だっぴ!」。へびやイモリも「だっぴ」。脱皮後は皆気持ちよさそうにキラキラしているが、脱殻はどこか寂しそう。リズムの良い言葉とユーモラスな絵で生き物の脱皮を描く読み聞かせにぴったりの絵本。



『もじもじこぶくん』

小野寺悦子／ぶん きくちちき／え
福音館書店 ¥900(税別)

こぶたのこぶくんはとても恥ずかしがりや。アイスクリームを買いにきたけれど、恥ずかしくて注文できない。もじもじするこぶくんの耳に、ありのありいちゃんの小さな声が聞こえ…。こぶくんの優しさと勇気が読者の共感を呼ぶ絵本。

その他のおすすめの本



『あついあつい』

垂石真子／さく 福音館書店 ¥900(税別)

『あまがえるのかくれんぼ』

たてのひろし／作 かわけまほこ／絵 世界文化社 ¥1,200(税別)

『おなががすいたよジョーンズさん!』

リチャード・スキャリー／さく 木坂涼／やく 好学社 ¥1,400(税別)

『おままごとであそびましょ』

やぎたよしこ／ぶん わかやましずこ／え 童心社 ¥1,200(税別)

『クマさんのいえへいかなくちや!』

ブライアン・リーズ／作・絵 横山和江／訳 徳間書店 ¥1,600(税別)

『くもとそらのえほん』

五十嵐美和子／作・絵 武田康男／監修 PHP研究所 ¥1,300(税別)

『このほんよんでくれ!』

ベネディクト・カルボネリ／文 ミカエル・ドゥリュリュ／絵 ほむらひろし／訳 クレヨンハウス ¥1,600(税別)

『サンドイッチぎゅーっ』

ひがしちから／作 光村教育図書 ¥1,200(税別)

『ながーい5ふんみじかい5ふん』

リス・ガードン・スキャンロン・オードリー・ヴァーニック／文 オリヴィエ・タック／絵 木坂涼／訳 光村教育図書 ¥1,400(税別)

『ねむねむごろん』

たなかしん／作・絵 KADOKAWA ¥1,000(税別)

『ふみきりくん』

えのもとえつこ／文 鎌田歩／絵 福音館書店 ¥900(税別)

『みらいのえんそく』

ジョン・ヘア／作 椎名かおる／文 あすなる書房 ¥1,400(税別)